

# 主題：雅歌に描写されているような勝利の生活

メッセージ 13

## 第四段階で勝利を得る（4）

### 天体とシュラムの女となる

聖書：雅 6:10 前半, 13. 箴 4:18. ローマ 9:16

#### I. 幕の内に生きることによって、キリストを愛する者は造り変えられて天体となります。

彼女は夜明けのように見え、月のように美しく、太陽のように明るいのです——雅 6:10 前半：

- A. 神の民の総合計である勝利者の母は、光に満ちています。神の勝利を得た民は光を担う者であって、すべての世代を通して輝いています——啓 12:1-5. II コリント 4:6-7. 3:16-4:1. ピリピ 2:15. ローマ 13:11-14。
- B. 現在の夜の時代に、キリストは輝く明けの明星のように輝き、彼のすべての勝利を得た聖徒たちは星です——啓 22:16. 1:20. ダニエル 12:3 :
  - 1. 生ける星はわたしたちを義とし、キリストと召会という天のビジョンの正しい道で導きます——マタイ 2:2. 啓 1:20。
  - 2. 神の建造を破壊する者はさまよう星です。彼らは神のエコノミーの天的な啓示という変わる事のない真理の中にしっかりと固定されないで、星のような神の民の間でさまよっています——ユダ 12-13 節。
- C. 勝利者の道は夜明けの光のようであり、ますます輝いて真昼に至ります——箴 4:18. ヨハネ 1:5 :
  - 1. 夜明けのめじかは復活したキリストを表徴します——詩第 22 篇, タイトル. ルカ 24:1. 雅 2:8-9。
  - 2. 夜明けの光、日の出は来臨におけるキリストと、わたしたちが毎朝復興されることを表徴します。クリスチャン生活は夜明けの太陽のようです——ルカ 1:78. 箴 4:18. 詩 110:3. 士 5:31。
  - 3. わたしたちは主の回復の広いハイウェイ、昇る太陽、限りない前途を見る必要があります——II テモテ 4:8. 啓 3:7。
- D. 月は召会、キリストの妻を表徴します。召会は太陽としてのキリストの光を反射することによって、この時代の暗い夜に輝きます——ピリピ 2:15. II コリント 3:16, 18。
- E. キリストは昇る義の太陽であり、彼の翼にはいやしがあって、ご自身をもってわたしたちをいやし再構成し、わたしたちが御父の王国で太陽のように輝くようにします——マラキ 4:2. マタイ 13:43 :
  - 1. いやされるとは救われること、完全にされることです。キリストはわたしたちをいやしますが、わたしたちは彼に自由を与え、彼の翼を用いてわたしたちの上、周りを、わたしたちを通して、わたしたちの内側で飛んでいただく必要があります——マラキ 4:2. 詩 139:23-24. イザヤ 66:1-2. マタイ 5:3。
  - 2. わたしたちは自己欺まんの暗やみ、暗やみの権威から、光の支配の下で光の中に生きることによって救われる必要があります——イザヤ 50:10-11. 詩 36:9. マタ

イ 6:22-23. コロサイ 1:12-13。

3. 天のビジョンを伴うわたしたちの内側の神聖な光の輝きは、わたしたちに「幸いな明るさ」を持たせ、何も見ることができず何もすることができないようにします——使徒 9:1-9. 詩 36:9. ピリピ 3:3。
4. 神、キリスト、キリストの命は光です。さらに、神の言葉、神の子供たち、神の召会も光です——I ヨハネ 1:5. ヨハネ 8:12. 1:4. 詩 119:105. マタイ 5:14. 啓 1:20。
5. 光は聖所の中にあり、聖所は至聖所であり、至聖所は立方体です。キリストを神聖な光として、立方体としての三次元で経験するためには、キリストのからだのブレンドの生活の中で生き、すべてのことをからだの交わりの中で行なう必要があります——詩 73:16-17. エペソ 3:18. 参照、列王上 12:6-16. 使徒 21:4, 11。
6. わたしたちはともし火としての小羊の中にある神聖な光を経験して、神の内なる支配の下で生き、暗やみを識別し、神の建造のために命の中で成長する必要があります——啓 21:23. 22:1. ピリピ 1:9. I ヨハネ 1:5-9. 創 1:16, 18。
7. わたしたちは自分が神の照らしの下にいることを見るとき、殺し供給する神聖な光としての彼を経験します——イザヤ 6:1-8. ヨハネ 1:4. エペソ 5:8-11, 13-14。

**II. キリストの命の円熟において、キリストを愛する者はシュラムの女となります。それは彼女がキリストの再生産また複製となり、結婚のために彼にふさわしくなることを表徴します——雅 6:13 :**

- A. わたしたちが神格において神と同じであると言うことは大きな冒とくですが、もし命、性質、表現、機能において神と同じになり得ないと言うなら、これは不信仰です。聖書は繰り返し、神の意図はわたしたちと一になり、わたしたちを彼と一にすることであると告げています——啓 21:2. 22:17 前半. 参照、ヘブル 4:2。
- B. シュラムの女は神の目に二つの陣営、あるいは二つの軍隊（ヘブル語、「マハナイム」）の踊りにたとえられます。ヤコブは神の御使いたち、神の二つの軍隊を見たとき、自分がいた所をマハナイムと名づけ、彼の妻たち、子供たち、財産を「二つの軍隊」に分けました——雅 6:13. 創 32:1-2 :
  1. 二つの軍隊の霊的な意義は、わたしたちを愛した方を通し、キリストのからだの原則にしたがって、わたしたちが勝ち得て余りがあり、「超・勝利する」という強力な証しです——ローマ 8:37. 12:5。
  2. 神は彼ら自身の中で強い者たちを願っていません。彼はただ虚弱な者、弱い者、女、子供を願っています——I コリント 1:26-28. II コリント 12:9-10. 13:3-5。
  3. 神が必要とするのは彼と一である民、編んだ髪（雅 1:11）で表徴される彼に服従する民、宝石をちりばめた首（10 節）で表徴される彼に従順な民です。
  4. 勝利者となるにふさわしいと勘定される者は、主に依り頼む弱い者です——エペソ 3:8. 啓 3:8. ガラテヤ 2:20。
  5. どのようにして神聖な啓示の最高峰に到達するかを考えると、わたしたちは自分に信頼するのではなく、愛、力、あわれみとして、わたしたちをあわれみ、誉れ、栄光の器とする主に依り頼むべきです——ローマ 9:16, 21-23. 雅 8:5-6。